

# 切実な声を市政に届けるために！

丸亀市に暮らしておられる皆様、新春のお慶びを申し上げます。  
本年も皆様のお役に立てるようにより一層精進して参りますので、よろしくお願いたします。  
まだまだコロナ禍が続きますが、今年はハーフマラソンの開催も予定されています。事情が許せば是非とも沿道にてご声援をよろしくお願いたします。



一般質問に立つすみの仁美

婦人消防団のお仲間の皆様と救急救命の講習を受講させて頂きました。婦人消防団はお仲間を随時募集中とのことです。興味がある方は、丸亀市消防署に是非ともお問い合わせ下さい。胸骨圧迫の練習、AEDの正しい使い方等を習わせて頂きました。周知されていくと思われま。胸骨圧迫を行う時には、指先を反って行い肋骨骨折を回避する。正しい位置に、押す速さ、押す強さ、押した分だけ戻すことに気を付けて行うことが大事だと学びました。



AEDの正しい使い方、勉強になりました

すみの仁美は今議会でもしっかりと発言しました

12月定例会での一般質問（裏面参照）

- ① 香川丸亀国際ハーフマラソンについて
- ② 食品ロス削減について
- ③ 母子手帳の電子化について

すみの仁美の  
2023年1月発行  
発行人：すみの仁美 丸亀市土器町東1丁目38-11

# 丸亀市12月定例議会、すみの仁美の一般質問

**問** 日本で開催されたオリンピックでは「おもてなし」が世界中にインパクトを与え、訪れて頂いた皆様へ感動と喜びを創り出しました。香川丸亀国際ハーフマラソンならではの「おもてなし」は何と認識しておられるのでしょうか。お示しく下さい。

**市民生活部長** 会場内に設けている「にぎやか村」には、うどんをはじめ骨付き鳥などの多くの店舗が出店しており、大会参加ランナー等を食でおもてなし出来るよう、民間の力をお借りして、丸亀の名産品を有料で提供しております。お正月に行われるニューイヤーマラソンや箱根駅伝を走った実業団・大学のトップ選手や、オリンピックを目指す選手を身近で見られるだけでなく、一緒に同じコースを走れることは、ファンランナーにとって大きな喜びではないかと存じます。自己記録が狙える高速コースとして有名であることが、本大会ならではのアピールポイントであり、このような大会の開催そのものが「おもてなし」であると考え

## 食品ロス削減について

**問** 丸亀市は食品ロス削減についてどのように認識しておられるのか、どのような策を用いて食品ロスを解消していくようとしておられるのでしょうか。丸亀市が計画しておられることがありましたらお示しく下さい。

**市民生活部長** 丸亀市ではこれまで、広報誌やゴミカレンダー、小学校の授業で活用する社会科副読本などで啓発に取り組むとともに、今年度は啓発パネルを作成しました。給食センターと連携し、給食献立表と合わせて子どもたちに配布する「食育だより」に食品ロスの削減に関する記事を掲載したりして、食品ロス削減の重要性について理解と関心を高めてもらえるよう、普及啓発に努めてきたところです。様々な手法による意識啓発が重要となってくることから、「モニターアンケート」での意見なども参考に、引き続き効果的な啓発方法等を検討し、実行してまいります。

**問** 食品工場や企業からの、廃棄するけれどもまだ食べられる食品の有効活用を期待して、子ども食堂、フードバンク、フードドライブを行って頂いている方々と食品工場や企業が一同に会して話す場を、市の呼びかけ、主導により作って頂くことをご提案いたします。いかがでしょうか。丸亀市のお考えをお示しく下さい。

**市民生活部長** 食品工場や企業など食品関連事業者から発生する、まだ食べられる食品を廃棄処分にする食品ロスをいかにして減らすかは、事業者にとって大きな課題であり、そのための取組みの一環として、余った食料を子ども食堂や福祉施設などに無償で提供するフードバンク活動は、食品廃棄物の発生を抑制することになり、食品ロスの削減にも直結するものであります。事業者から出る余った食品がフードバンク活動の役割や意義について、理解と関心を深めていただくことが何よりも重要になります。そういったことから、まずはフードバンク活動の役割や意義などの普及啓発に努めるとともに、並行して、食品関連事業者にフードバンク活動へのご理解が進むよう、市からの働きかけも必要と考えておりますので、事業者のご意見をお聴きするなど、それぞれの関係機関がつながる機会の提供を模索してまいります。



## 母子手帳の電子化について

※紙面の都合上、広報誌「議会だより第94号」をご覧ください。